



宮原良治司教認可  
発行所 福岡司教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行 人  
カトリック福岡司教区三  
編集人 森山信三  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡司教区  
定価 一部60円

5月の意向  
【一般】 人身売買  
【宣教】 司祭、修道者、そして信徒  
【日本の教会】 宗教的少数者の信教の自由の擁護  
教皇様の意向のために祈りましょう

### 教皇メッセージ「召命祈願の日」と「広報の日」で司祭に呼びかけ

「召命祈願の日」と「広報の日」に当たり、教皇ベネディクト16世によって2つのメッセージが出されたが、これらは「司祭年」にあわせて主に全世界の司祭に向け発表された形となっている。そのメッセージを要約して掲載する。

まず、今年の「世界召命祈願の日」教皇メッセージのテーマは「あかしすることが召命を呼び起こすのです」であるが、その中で召命の裏りは、何よりもまず、神の自由な働きにかかっているとしながらも、同時に主の召し出しにすでに応えた人々のあかしが何よりも重要であると強調する。そして司祭のあかしを効果的なものとする三つの側面として、キリストとの親しさ、自らを完全に神にささげ尽くすこと、そして交わりの生活を挙げる。

まず、イエスは、つねに御父との一致のうちに生きた。それゆえに、弟子たちは神と交わり、神とたえず対話して生きることをイエスから学んだ。同じく司祭も神の愛のうちにとどまり、みことばに耳を傾ける場を設けて、神との親密さを深めるよう促す。

第2について、「あらゆる召命の物語は、神の国のために兄弟姉妹に喜んで自らをささげて生きる司祭の証言とつねに結びついています。なぜなら、司祭の存在とことばは、問いを投げかけ、決定的な決

断へと導くことができるからです」と述べて生涯を捧げる司祭の存在に目を向ける。

第3の「交わりの生活」について、「イエスは、彼の弟子になることを望む人のしるしは愛のうちにある深い交わりであることを示しました。司祭はとりわけ、すべての人に開かれた交わりの人とならなければなりません。また、主のいつくしみによって司祭にゆだねられた巡礼者の群れを一つにまとめることができなければならない。そうすることで、不和を克服し、分裂をなくし、紛争と誤解を解決し、過ちをゆるす助けとなるのです」と述べて、物質主義、利己主義、個人主義に考え方が傾きがちな世界におい

次に「世界広報の日」メッセージのテーマを、「司祭とデジタル世界における司牧みことばに仕える新しいメディア」とし、デジタル時代における重要で繊細な司牧的領域に焦点を当てた。教皇は言う「すべての司祭の中心的な務めは、イエス・キリストを告げ知らせ、秘跡においてキリストの救いの恵みを伝えることです。みことばに呼び集められた教会は、神がすべての人と交わるためのしるしであり道具です。そして、すべての司祭は、キリストのうちに、キリストとともにこの交わりを築くために召し出されています。この

### 聖香油の祝別ミサと司祭職制定を祝う



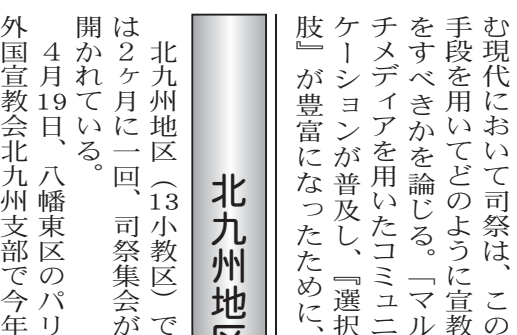
3月30日、聖週間の火曜日、聖香油のミサが宮原司教の司式で、60人の司祭とともに捧げられた。銀、金祝またダイヤ

3月30日、聖週間の火曜日、聖香油のミサが宮原司教の司式で、60人の司祭とともに捧げられた。銀、金祝またダイヤ

使命を忠実に果たすことが出来るよう祈ってほしい」と信徒に呼びかけた。さらに当日祝福された香油のなかで特に「病者の油」について言及した。「病者の塗油の秘跡は司

祭だけに委ねられている秘跡である。福音書の中にあるように、イエスは数多くの病人と出会い、癒し、大切にされた。病む人の前に膝をかかめて癒された。この病者の油は、病人を黙って見ておれないイエスの心を表していると言えない。善きサマリヤ人のたとえにあるように教会の名において、司祭は傷ついた人、病む人のそばに寄り、神の愛を伝える。司祭が神の望まれる奉仕の役割を果たせるよう祈ってほしい」と結んだ。

聖香油ミサ後、司祭職制定を祝って1階講堂で祝賀式が行われ、金祝・銀祝司祭など



6人に教皇様からの祝福のメッセージが贈られた。写真は、メッセージを掲げる金祝の鶴野泰年神父、ダイヤモンド祝のC・ガッツァルデイ神父、銀祝のスタン神父、杉原寛信神父、浦川務神父。

### 時の話題

#### 鶴野泰年神父

あの日あの日、あのことがなかったら、私の人生はなかったでしょう。中学二年の時初めて教会に行きました。そして、教会の持つ豊かな芸術、限らない宝に感謝し、神を発見したことに夢中になりました。でも何となく、でも何となく、この錯覚。私という錯覚。私が神を発見し、マリア様を捕らえたのではなく、神様とマリア様が、私を捕らえておられるのに気づいたのは、ずっと後のことでした。★ある日、青年が遊びに来ました。そして、カトリック新聞に「積極的な道具になりなさい」という記事に目を止めて、「あれ、これは違うんじゃないですか」と言いました。★「道具は自分から動いてはいけません。動いたら大工さんが困ります。無でなければいけない。僕たち青年会も人を助けようとするけど、神様によって助けてもらおうとしないかぎり神は沈黙を守られます。神様に「あなたがして下さい。」と頼むとき全能の力を現されません。★人間のレベルです。時と違つて、祈りながらする時は神様が直接それをなさいます。だから奇跡も起こるのです。神父様は今まで、沢山の画像を作って人々に差し上げたでしょう。神父様はただ人にご像をやるだけでその人に霊的な恵みが直接神から与えられたはずで。★このマリア様をご覧なさい。手を合わせ、顔を優しく天に向けておられるでしょう。人に話したり、教えたりするときは、このルルドのマリア様と同じ形でその人に向かわなければなりません。つまり、その人の悩みを聴いてそれを祈りのうちに神様に引き渡しておられる。神父様もそうしてください。そうすれば、回答は神様のほうからその人に注がれます。今では、自分がマリア様に捕らえられていることを心底、実感しています。若松教会主任司祭

### 北九州地区司祭の集い

北九州地区(13小教区)では2ヶ月に一回、司祭集いが開かれている。4月19日、八幡東区のバリ外国宣教会北九州支部で今年度最初の集いが開かれた。午前10時半から午後3時まで。御受難修道会の2人の司祭を含め、11人の司祭が集った。宮原良治司教も参加した。この集会では各小教区の情報交換や行事の調整の他、地区としての課題や問題を話し合っている。今回は新しい地区長(山元眞神父)と小倉教区(山元眞神父)が決まったこともあり、会の初めに地区長の役割などについて宮原司教から説明と司祭たちへの励ましの言葉が述べられた。その後、今回の異動で北九州地区に派遣された3人の司祭の挨拶があった。各小教区の近況報告の後、地区における役割分担を決められている「日本の教会の方向性」を福音宣教会のあり方/社会から教会に求められていることとは何か」という課題について、その方法論を考えた。他にも様々な課題があり、今後検討されていく。北九州地区の教会の発展を願い散会。次回は6月14日。

これらの方法をいかに用いることにより、対話、福音化、カテケジスのための新たな幅広い展望を開くことができるのです。」と述べてると同時に、「司祭は、メディアに関する知識よりも、司祭の心、キリストとの親しさを目を向けるべきです。キリストとの親しさを、司祭活動を活性化させるだけでなく、『ウェブ』を構成するコミュニケーションの構造に『魂』を与えるのです。」と述べてメディアを駆使すると同時に、神との親しさがその根底にあるべきことを強調した。

わたしたちは単にウェブ上に何かを開発すればよいとか、ただ何かを書き込んでおけばよいなどと思いがちです。しかし、司祭はまさに福音の忠実なあかしびととしてデジタル・コミュニケーションの世界で働くよう期待されています。司祭は、デジタル市場が提供するさまざまな「声」を使って、ますます自らを表現する共同体のリーダーとしての役割を適切に果たすのです。したがって、最新の視聴覚素材を駆使して福音を告げ知らせることが司祭に要求されます。伝統的手段に加えて



教区報を担当して3年目に入った。皆様によりよい情報を、心がパツと明るくなるような記事や、あるいは信仰を呼び覚ましてくれるような紙面を願ってはいないのだが、なかなかままならない。そのようなネタになかなか遭遇しないのが現状である▲そもそも、教会の広報担当の任務とは、起こっている事実、討議された内容などを通してキリストの福音を伝えるということである。最近のメディアで宗教の報道と言え、どうもスキャンダラスなことが多いいのが目に付く。しかし、心暖まるエピソードや、人々の良心に訴える出来事や、誰からも評価されることなく、黙々と社会貢献をしておられる宗教者の方々のことは、まず、報道されない▲「福音宣教」一月号に「日本の教会消滅の危機」と題して、英師が教会の現状分析をしておられる。それによると日本の教会の停滞、行き詰まり、高齢化、そしてなまぬるさを挙げ、「日本人のカトリック信者は、キリスト教を宣べ伝えたいと心から願っているのだろうか、ほとんどの信者は日曜日のミサにあずかっただけで満足している、ミサさえあれば、それ以上は何も望んでいないのではないか」と言われる。油の乗り切った一司祭の嘆きとして、共感する部分もあった。彼自身が感じている閉塞感もあろう。しかし、よろこびの福音を伝えるべき宣教師の言葉として、いささか残念であった▲日本の教会が復活していくために何が不足しているのだろうか。それを議論するのはなく、まず私たち一人ひとりの意識改革が求められるだろう。M

2009年福岡教区現勢 (2009年1月1日～12月31日)

Table with columns for small parishes (小教区名), registered members (在籍信徒数), baptisms (洗礼), and church schools (教会学校). Rows list various parishes like 糸島, 今村, 大牟田, etc., and regional totals.



「神は天から目を注ぎ、人々を見ておられる」 (詩編 33)

詩編の言葉には、私たちが生活の中で体験する様々の思いが表現されていて、苦しい時には慰めと勇気を与えて前

に進ませ、嬉しい時には相応しい言葉で感謝と賛美を神に捧げさせてくれます。20数年前の冬の出来事は忘

れることができません。その頃わたしの教会では博多駅に二回おにぎりを配っていました。そこには、その人たちに仕事を斡旋し賃金をピンハネする暴力団がらみの手配師がいました。彼らの目に私たちが、ホームレスの人たちを甘やかして働かせなくし、彼らの実入りを少なくする邪魔者と映ったらしいのです。私たちが駅のコンスロスに入っていくと、近づいて来てすごい形相でにらみつけ、ピタッと横に張り付き、私たちのし

こわばらせながらおにぎりを配りました。器を蹴り上げられて中のおにぎりがコンコースに散らばったときには、無惨な姿のおにぎりを拾い集めながら、気持ち折れそうになりました。一番やりきれなく打ちのめされたのは、私たちが受けた年配の人たち。重苦しい気持ちのまま迎え

「神は天から目を注ぎ、人々をすべて見ておられる。神は盾、神は救い、わたしたちは神を待ち望む。心は神のうちにあって喜び、

右記の数字は2009年12月末の信徒のみです。福岡教区の昨年の現勢としては、司教1人、福岡教区司祭が33人、助祭が1人、長崎など他教区からの協力司祭8人、宣教会や修道会の司祭45人、大神学生1人、小神学生3人、修道士3人、修道女382人など477人が加わり、3万7011人です。

「神は天から目を注ぎ、人々をすべて見ておられる。神は盾、神は救い、わたしたちは神を待ち望む。心は神のうちにあって喜び、

「神は天から目を注ぎ、人々をすべて見ておられる。神は盾、神は救い、わたしたちは神を待ち望む。心は神のうちにあって喜び、

神の前で生と死を考える集い
参加者を募集中
6月5日(土) 16時から 6日(日) 15時 (指導: Sr.高木慶子)
12月11日(土) 16時から 12日(日) 15時 (指導: 来住神父)
\* 信徒を対象に『生と死』を『経験』と『カトリックの教え』の両方から考える研修会です。

イタリア・ペルージャの聖香油ミサ
ペルージャの聖香油ミサは聖水曜日17時から。呼びかけとして、『今年、堅信を受けたい』とあつた。各小教区に、聖香油ミサをはじめ、司教司式による聖週間の典礼の特ダボスターが事前に掲示されていた。実際、ミサにはたくさんの方々が、特に子どもたちが多く、教会の侍者たちも数多く参列している。



カトリック福岡教区報
カトリック福岡教区報
カトリック福岡教区報
カトリック福岡教区報

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656

司祭 シリーズ ⑬

司祭の神の人と人間性



ペトロ杉原寛信神父

月から幼稚園に関わっている。登園してくる子どもたちが、『神父様、おはようございます』と挨拶してくる。そんな中、一人の男の子が、『神父様、おはようございませう』と挨拶して、独り言のようにつづった。『神父様の顔がかわつとる』と。前の園長も新しい園長も神父様という

は、おもしろくて深い。響いてくるものがある。聖ヴィアンネーが語っている。

近頃の若いモンは

—青年による青年事情通信—

零 (ゼロ)

今回はこの復活夜祭に受洗した青年にインタビュー。受洗の前から、教会で多くの仲間たちと共に歩んできた

彼女の、現在の思いを聞いた。光丘教会のマリア・フランシスカ吉村祥(さち)さん

①洗礼を決めたのはいつごろ? \*1年前の復活祭前後です。ふと思いついて、勢いで「受けます」と言っていました。②洗礼までの途中で感じたことは?

間を神様にまで高めず。あ、司祭とは何と偉大なものでしょう。司祭と会ったときには、こう言わねばなりません。『ごらん、私を神の子としてくださった人です。洗礼によって、私に天国を開いてくださった人、罪を犯した私を浄めてくださった人、私の靈魂の食物をくださった人です。』御復活後、あれほど愛していた主を再び見る

一人の平凡な弱い者が、司祭に叙せられるという驚くべきこと。それは決しておごり高ぶることであってはならない。一人のみじめな弱い者であるからこそ、司祭として深く謙遜にならなければ、人である司祭は神であるイエスを生かす。そこに司祭職が生かす。神が人となり、人の顔をもたれた。救い主の誕生。人が神(の代理者)となり、神の顔をもたせていただく。司祭の誕生。

『聖ヴィアンネーの精神』からの引用) 聖ヴィアンネーは言いたいようだ。司祭の顔は、すなわちイエスの顔である。 \*洗礼を決めたのは1年前ですが、教会に関わりを持たせていたたく様になったのは8年前です。トータルして8年間で一番強く感じたことは、自分自身や信者でない方も含めて、誰の中にもキリストがいるな、という事です。

今『司祭年』。司祭は人として神を表わす。 新田原教会主任司祭 カトリック行橋幼稚園園長

③洗礼を受けた今、思うことは? \*「言ってしまった」です(笑)。「キリストを信じます」と、「悪を退けます」と、洗礼式のミサで宣言してしまいました。そんな自信は全くないのに(笑)。ただ、後悔はありません。つまずく事や間違える事はこれからウンザリする程あるでしょうが、その都度、キリストの元に帰る事になるのだらうな、という、ぼんやりした確信のようなモノがあります。

④これからの夢は? \*頭の中は夢だらけです(笑)。くだらない事ばかり、夢見ています。でも、いくつになっても、人生の終わりの時でも、夢を見続けたいと思います。

⑤今の自分を漢字一文字で: その理由も \*「零」です。まだ26年しか生きていませんが、楽しい事や悲しい事を経験するたびに、マイナスやプラスや、心身が色んな場所に右往左往していました。今は、マイナスでもプラスでもない、「零」地点にいる気がします。これから、どんなモノが見られるのか楽しみです。これからの人生で楽も苦も多々あると思えますが、毎朝「零」の地点に立って、いい一日を過ごせるようになりたいと思えます。

光丘教会青年信徒 吉村祥

八代11名殉教者記念公園が誕生



八代の11人殉教者の

処刑地・麦島に教区所有の殉教公園が誕生し、2月28日宮原司教の手で祝別式が行われた。 2008年、長崎で188人の列福準備が進む中、福岡教区本部による土地の選定、確認などが行われていたが、このほど「クリシタン殉教者列福記念公園」として誕生した。公園は小西行長が築いた麦島城跡に隣接しており、約770坪が市民にも開放される。

福者小笠原玄也一家15人殉教記念祭

島崎教会



4月11日(日)午後2時より島崎教会(熊本市)で、福者小笠原玄也一家15人殉教記念祭が宮原良治司教の主式で執り行われた。記念式には熊本各地より司祭・修道者・信徒約300人が集った。

第一部、島崎教会聖堂で殉教荘厳ミサが、宮原司教と11人の司祭の共同司式で捧げられた。司教は、説教の中で、「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒の麦までである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」(ヨハネ12・23)のみ言葉を通して「殉教者は、このみ言葉通りの生き方をされた。玄也は細川藩の上級武士でしたが、その身分や地位に一切とらわれず、これを捨て、この世に死し、神の国の宝物を選ばれました。今、全世界でキリストの証人となつていきます。今を生きる私たちは、この本物の信仰を学ぶべきです。」と論じた。

福岡市中央区内6高校の生徒会代表が司教訪問



3月17日、福岡市中央区内の6つの高校(泰星、福岡雙葉、福岡中央、筑紫女学院大濠、若葉)の生徒会で行った。6校のメンバーの3人が宮原司教を表敬訪問した。

訪問したのは泰星学園の高校生(内田奎太郎、前田逸平、目等勝悟)。彼らは昨年末、クリスマス商戦で賑わう天神で「カンボジア募金」を60人で行った。

3月17日、福岡市中央区内の6つの高校(泰星、福岡雙葉、福岡中央、筑紫女学院大濠、若葉)の生徒会で行った。6校のメンバーの3人が宮原司教を表敬訪問した。

3人の報告を聞いた司教は、「若い皆さんの行動を嬉しく思います。人と人との関わりから信頼が構築されていくなら平和に繋がっていきます。皆さんが学校などいろいろな違いを越えて、お互いが顔を合わせて友情を築き合っていく、世界平和の構築に繋がると活動に励んでください」と激励した。

当日は八代教会の信者とともに、市民団体の代表者数人も参列して司教と親しく話し、公園開設に歓迎の意を表した。式の中で宮原司教は「地元の人たちに喜ばれる公園としたい。処刑の地として、ややもすると暗いイメージを持たれるが、ここが祝福の地平和をもたらす地となることを願っている」と強調した。

BOOK 読め専科 イエさま いつもいっしょ 稲川圭三 著

☆イエスさま いつもいっしょ 稲川圭三 著 保育園、幼稚園、学校に通っている子どもの親を対象に、典礼暦を通して実際に生きた歩みとして教会の教えを学び、福音書からキリストの生涯を見つめて、最後に秘跡を通して今も働いている神に触れていく。月刊誌『家庭の友』に07年から09年に連載された記事を単行本化。 サンパウロ 発行 税込定価 1365円

不動産全般/売買・賃貸・管理 存んでもお問い合わせください (株)ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子 〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号 TEL 092-761-8800 http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション 自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。 春日市上白水 5-11-102 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業 一般住宅(新築・改築工事) 鉄骨工事 RC工事 建築の事なら何でもお気軽にご相談ください 有限会社 森山工務店 ヨゼフ 森山 森山 森山 福岡市早良区四箇1丁目15番28号 (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い セント・ポール FUKUOKA 聖パウロ教会 発行 税込定価 1050円

# 司祭召命の育成!

## カトリック教会のカテキズム

日時：2010年6月27日(日) 15:00  
 場所：カテドラル大名町教会  
 講師：櫻井尚明神父(大名町教会主任)  
 資料：カトリック教会のカテキズム

## 2010年福岡地区聖書講座

テーマ：聖書とわたし ～生活の中でみことばを活かす  
 日時：2010年5月16日(日) 14:00～16:00  
 場所：カテドラル大名町教会  
 講師：櫻井尚明神父(カトリック大名町教会)  
 参加費：500円 旧新約聖書をご持参下さい。  
 主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典部会

## 2010年北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます～神のことばを食べる  
 目的：生きるための力となる「神のことば」をいただきます。  
 日時：5月16日(日) 14:00～16:30  
 場所：カトリック小倉教会  
 講師：山元 眞 神父(カトリック小倉教会)  
 主催：北九州地区信徒協 聖書部会

## 熊本地区 第5回 神学講座開講のお知らせ

テーマ：「イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう」  
 ≪希望、喜びをもたらすミサ≫

【期間】2010年5月16日～11月21日(全6回)  
 【時間】13時半～16時半 【会場】カトリック手取教会  
 【日程】5月16日 イエスの祈り・ミサ 白浜 満神父  
 【受講料】各回1000円(通年5000円)  
 \*尚、参加希望者は事前に実行委員会にご連絡ください。  
 【問合せ先】☎096-352-3030(手取教会 岸)  
 【主催】熊本地区神学講座実行委員会

## 千葉茂樹監督を迎え「マザー・テレサに学ぶ」

テーマ：『愛は行動です。いのちに寄り添ってください。』  
 日時：5月23日(日) 14:00～17:00  
 場所：カテドラル大名町教会  
 参加費：500円  
 主催：福岡教区広報委員会・福岡地区信徒協広報部会

福岡教区広報室アドレス  
 E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

2010年

案内板

会合と催し

5月のこよみ

## 福岡黙想の家ご案内 5月

◇3日(月)～5日(水) クルシリヨ  
 ◇12日(水) 宗像市民クリスマス実行委員会  
 ◇15日(土)～16日(日) 山口・島根地区信者養成研修会  
 ◇17日(月)～18日(火) 召命を共に祈る会・黙想会  
 指導：浦川務神父・杉原寛信神父  
 福岡チーナクルム  
 ◇19日(水) 聖ザベリオ宣教会黙想会  
 ◇23日(日)～28日(金) 御受難修道会プレ・コングレス  
 〒811-4155 福岡県宗像市名残1056  
 ☎0940・32・3222 FAX32・3385  
<http://www1.biz.globe.ne.jp/fmokusou/index.htm>

## 真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い  
 年間テーマ：教父に祈りを学ぶ  
 ・日時：5月13日(木) 10時～14時半  
 ・内容：聖ヒエロニムス  
 ・指導者：フランコ神父  
 指導：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)  
 ドニエレ サルツィ・サルトリ神父  
 Sr. マリア デ・ジョルジ  
 問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター  
 ☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186・玉名郡和水町蛸浦  
 1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp  
 \*個人またはグループでの黙想や研修会も歓迎。(要予約)

## カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：5月15日、6月5日 第1・第3土曜日 10時～12時  
 場所：カトリック大名町教会小聖堂  
 \*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

◆福岡  
 ■聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から12時30分(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(代表) Br.床嶋(問合せ) ☎092・521・2503 蓮尾  
 ■福岡結婚準備講座(日時) 5月8日(土) から6月5日(土) 18時半から21時迄の全5回(場所) カトリック大名町教会(参加費) カップルで一万円(問合せ先) ☎092・741・3687  
 \*原則、お二人での参加が必要。ご相談ください。  
 ■在世フランスシスコ会集會(日時) 5月9日(日) 14時から(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集會所(内容) アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習(指導) 戸村悦夫神父(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎  
 ■笹丘教会バザー(日時) 5月9日(日) 11時から14時(目的) 新教会堂建設のため(内容) 抽選会・手作り品や遊休品販売・おもしろものコーナー・ゲームコーナー等  
 ■召命祈願ミサ(日時) 5月13日(木) 19時半

(場所) 日本カトリック神学院福岡キャンパス聖堂  
 ■第10回信徒の霊性と召命を考える集い(日時) 5月16日(日) 14時から16時半(場所) サンパウロ福岡宣教センター(内容) 信仰を生きる(標題)・祈りの聖時間(対象) 40歳位までの独身女性(企画) 鈴木美子(使徒職の協力者)(参加費) 300円(問合せ先) 092・715・3606 鈴木  
 ■グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 5月18日(火) 11時から(場所) 聖カララ寮(内容) グレゴリオ聖歌ミサ(聖マリアのためのミサ曲)(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子  
 ■召命を共に祈る会(日時) 5月20日(木) 14時30分(場所) 召命の家(指導) 浦川務神父(教区召命担当)  
 ■紫苑心のセミナー(日時) 5月23日(日) 14時～16時(場所) カトリック案内所 ☎0940・38・8915(テーマ) 人生における苦難の意味②(講師) 小宮豊医師(精神医学・人格心理学) / 来住英俊神父(福岡黙想の家院長)(参加費) 自由募金・コーヒータイムあり(連絡先) ☎0940・332731 吉永昌子  
 ■臨床パストラルケア一日研修会のお知らせ(日時) 6月19日(土) 10時から17時(受付) 9時半から(会場) サンパウロ福岡(中央区赤坂)(講師) 臨床パストラルカウンセラー 中島保壽・加藤理人(対象) 臨床パストラルケアに関心をお持ちの方(研修費) 一般5000円、会員4500円、学生2000円(主催) NPO法人臨床パストラルケア教育研究センター(問合せ先) イエスの聖心病院 加藤理人 ☎096・352・7181 / 海江田紀子 ☎092・861・4802 / <http://pastoralcare.jp/>

◆北九州  
 ■小倉祈りの集い(日時) 5月28日(金) 13時半から15時(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難修道会)(内容) 『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡先) ☎090・3985・5209 松田裕子  
 ■北九州召命を共に祈る会(日時) 5月13日(木) 14時から17時(場所) カトリック小倉教会聖堂及び信徒会館(内容) 召命のごミサ・み言葉の分かち合い・ミーティング(問合せ先) ☎093・963・2359 江口

◆熊本  
 ■故アレグリーニ神父様を偲ぶミサ(日時) 5月16日(日) 9時半のミサ(中委) 佐賀教会(担当) 佐賀教会員4名(内容) 4年を思い返したい  
 ■佐賀祈りの集い(日時) 6月5日(土) 10時半～12時(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本  
 ■カトリック看護協会福岡支部の集まり

編集後記  
 司祭年も終わりに近づきました。教皇様は、召命、広報の2つのメッセージを主に司祭に向けて発信されました。これはもとより、信徒は関係ないという意味ではありません。第IIバチカン公会議後、教会の中で信徒の役割は多様化したとはいえ、司祭の役割はやはり固有で、大きな意味を持つからだと思えます。神の民は司祭によって豊かにされると同時に司祭も信徒によって豊かにされています。その意味でお互いが、お互いの役割を明確化して、それを最大限に発揮し、生きることが大事なのだと思えます。

地震被災者救援募金  
 カリタスジャパンは、国際カリタスおよび現地カリタスと協力して支援を行っています。  
 ■募金受付先  
 郵便振替番号：00170-5-95979  
 加入者名：カリタスジャパン  
 \*ご協力をお待ちしています。

北九州  
 ■美野島司牧センター ホームレス支援のための毎週火曜日10時半から炊き出し等への協力を願います。(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父

熊本  
 ■熊本結婚準備講座(日時) 5月8日(土) から6月5日(土) 19時から21時半毎週土曜日の全5回(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで一万円(問合せ先) ☎096・352・3030 渥096・352・1515  
 ■熊本地区召命を共に祈る会(日時) 5月6日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

**COSMOS**  
 スポーツ用品・OA・文具  
 〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3  
 TEL 0942-77-3199  
 代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 聖母会  
**聖マリア病院**  
 総合周産期医療センター  
 がん診療連携拠点病院  
 地域医療支援病院  
 救急救急センター  
 \*入院基本料(一般病棟7:1)  
 〒830-8543  
 福岡県久留米市津福本町422  
 TEL0942-35-3322(代表)  
 FAX0942-34-3115  
<http://www.st-mary-med.or.jp>

痛みの相談室  
**いくま整骨院**  
 受付時間  
 平日：9:30～12:00  
 14:30～20:00  
 土曜：9:30～15:00  
 休診：日曜・祝祭日  
 福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F  
 TEL 092-884-0134  
 ペトロ 生熊 公吉

サンパウロ福岡宣教センター  
**211アさまの心、それは青空...**  
 【聖母月、特設コーナーあり】  
 1階 聖書・信心書・聖人伝・初歩関係・絵本・一般書等  
 2階 家庭祭壇・十字架・CD・DVD等  
 営業=10:00～18:00\*定休日=日曜日・祭日\*駐車場完備  
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26